

地域おこし協力隊 活動報告書

令和7年2月6日
八峰町地域おこし協力隊
越前谷 淳



八峰町地域おこし協力隊

越前谷 淳 ECHIZENYA JUN

神奈川県川崎市出身。

大学卒業後に清掃、衛生関連の大手企業に営業職として入社。

入社5年目に契約件数全国1位を達成。

11年勤めた会社を退職し、

2022年10月に八峰町地域おこし協力隊として神奈川から移住。

2023年、仲間と“やっほ～farm”を発足し活動開始。

協力隊退任後はやっほ～farmを法人化。八峰町に骨を埋めます。

3年間の主な活動

○イベントの運営、町のPR、定住移住に関わる業務など

- んめものまつり
- 御所の台オートキャンプ場の冬キャンプイベント
- 産直ぶりこイベント
- 海のクリーンアップ&漂着物アートワークショップ
- 旧雄島花火大会
- 岩館キャンプdeマルシェ
- 各種メディア出演
- SNS
- イベント出店
- やっほ〜farm
- 移住相談会（オフライン、オンライン）
- 町内案内サービス
- 移住者交流会
- 移住体験ツアー
- 半農半X
- ふるさとCM

1. はじめに

・ 地域おこし協力隊としての任務

- ・ 定住移住の促進
- ・ 地域活性化



・ 八峰町の課題

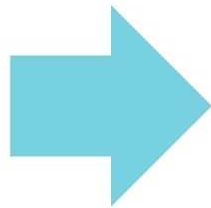
- ・ 若い世代の定住移住が進まない現状
- ・ 一次産業の担い手・後継者不足



2. 定住移住を促進するための方法

・地域の魅力を具体的に発信

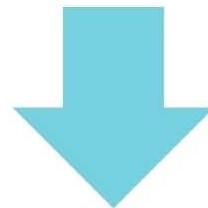
SNS、イベント出店、学校との連携



外から人を呼び込む仕組み作り
町に残る、戻ってくる仕組み作り

・課題解決の糸口としての農業

興味を持ちやすい地域の特産品や一次産業



やっほ～farmの活動開始

3. やっほ～farmについて

カモミールと峰浜梨の栽培

野菜づくりからスタート（初心者が農業に挑戦）



カモミールの栽培（八峰町の新しい魅力）



笠原果樹園に弟子入り（八峰町の歴史ある魅力）
事業承継に取り組む



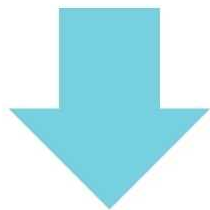
法人化（八峰町のふたつの魅力に更なる価値を）



4. 地域おこし協力隊としてのやっほ～farmの活動

・ 農業を通じた地域資源の発信

やっほ～farmでのカモミール栽培
梨農園の事業承継の取り組み



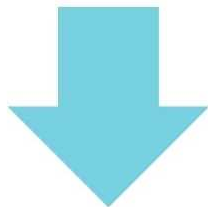
交流人口、関係人口の創出
担い手確保



4. 地域おこし協力隊としてのやっほ～farmの活動

仕事づくりの提案

商品開発、加工品販売



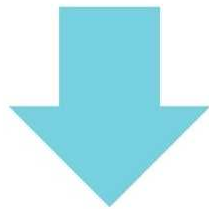
多角的な働き方の提示



4. 地域おこし協力隊としてのやっほ〜farmの活動

イベントやSNSを通じた町のPR活動

県内外のイベントや外部での販売活動、SNS



八峰町の認知度向上



5. 成果

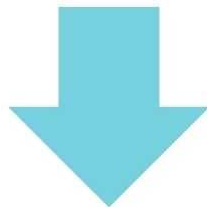
- ・ **農業体験の参加者（交流人口、関係人口の創出）**
 - ： 町外から計17名
（うち東京から1名、熊本から2名）
- ・ **八峰町産カモミールティーの常時展開（八峰町の認知度向上）**
 - ： 秋田県内8店舗
 - ： 県外3店舗（青森、福岡、沖縄）
 - ： 合計11店舗
- ・ **将来、梨農家になりたい子供（担い手確保）**
 - ： 1名



5. 成果

具体的なモデルケース

やっほ～farmの活動



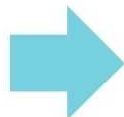
自分自身が移住定住の成功例



6. 課題と今後の展望

・ 地域活性化の広がり

やっほ～farmの活動が、まだ八峰町全体の地域活性化に結びつく段階には至っていない。



・ 解決の方向性

町全体を巻き込んだ取り組みや、他の事業者さんたちとの連携を強化し、広域的な魅力発信を目指したい。



・ 具体例

- ・ 学校とのさらなる連携強化
- ・ 福祉施設との連携
- ・ 町内事業者さんたちとコラボ商品の開発

今後は企業として、利益を求め続け発展していくことで、地域活性に貢献することを目指します。

やっほ～farm